別記様式（第４条関係）

会　　議　　録

会議の名称	令和２年度第１回宍粟市地域包括支援センター運営協議会	
開催日時	令和２年７月 21 日（火）　13：30～15：00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎４階　401 会議室	
議長（委員長・会長） 氏　　名	垣尾会長	
委員 氏　　名	（出席者） 舩曳委員、丸山委員、大谷委員、瀧本委員、 山根委員、山田委員、中尾委員、橋本委員、 山中委員、堀田委員、尾下委員、縣委員、 西川委員、春名委員、上田委員、平山委員	（欠席者）
事務局 氏　　名	（健康福祉部）　　世良部長、三木次長 （一宮保健福祉課）前田課長 （波賀保健福祉課）藤井課長 （千種保健福祉課）堂田副課長 （福祉相談課）　　樽本課長、栗山副課長、吉田	
傍聴人数	０人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ４．協議事項 （１）令和２年度地域包括支援センター事業実績について （２）令和２年度地域包括支援センター運営方針について （３）令和２度地域包括支援センター事業計画について （４）介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の一部委託について承認	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞	

（会議の経過）

発言者	課題・発言内容
事務局	１．開会
健康福祉部長	２．あいさつ
事務局	３．宍粟市地域包括支援センター運営協議会について説明 宍粟市地域包括支援センター運営協議会の委嘱 委員紹介 会長、副会長選出することになっています。 会長：垣尾内科クリニックの垣尾委員 副会長：介護保険 1 号被保険者代表舩曳委員
事務局	４．協議事項 （1）令和元年度地域包括支援センター事業実績について 令和元年度地域包括支援センター事業実績について説明。 地域包括設置状況・職員配置・各会議や研修会、相談実績等の報告 （2）令和 2 年度地域包括支援センター運営方針について 令和 2 年度地域包括支援センター運営方針（資料 1）説明 新規事業について説明。 ・フレイル予防事業 ・認知症予防健診 （3）令和 2 年度地域包括支援センター事業計画について 令和 2 年度地域包括支援センター事業計画（資料 2）説明。 （4）介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の一部委託について 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の一部委託（資料３）説明。
会長	事務局からの説明が 4 点ありました。 資料をご覧になり、説明を受けられ、ご意見等あれば、お願いします。

	提案ですが、資料 2、P3 をご覧になり、地域包括支援センターの業務内容の記載がありますが、この中で、ご自身が興味を持たれているところがあれば、自己紹介を兼ねてお話ししていただければありがたいと思います。
会長	②権利擁護業務に興味があります。小さな子供さんが虐待で食事が食べられず亡くなったり、家庭内暴力で亡くなったりがあるが、高齢者にも直接的に虐待をすることもあるし、介護放棄など、十分な食事が与えられなかったり、保清がされなかったりなど、そういう方たちを発見すれば何とかなるが、発見するまでがなかなかいかないところがあります。そういうところが、地域のネットワークではないかと思います。埋もれている方が時々、医療や介護の現場でも見聞きすることがあるので、この業務に興味を持っています。
A 委員	フレイル予防事業で今年度、オーラルフレイル事業の高齢者の歯科健診及び相談ということが始まるという通知がきたが、そのあたりについてご説明していただきたい。実際、今年からやるのかどうか。
事務局	オーラルフレイル予防として、県のモデル事業で宍粟市で手をあげ、今年度、オーラルフレイル予防教室を実施する予定となっています。内容は、8 月 3 日に県の説明会があるため、参加し、確認する予定となっています。今年度は通いの場の会場 3 か所で実施していきたいと思っています。
A 委員	担当者は I 歯科医師となっております。
B 委員	初めて聞くことが多いので、興味のある内容は全部です。
C 委員	いきいき百歳体操の話が出ていたが、私も、できるだけ参加させていただいています。今日もやってきた。一時、休んだ時期に、やってほしいという声もあり、できるだけ、いろんな形でこういう風にしたら、感染予防もできるなど、具体的なアドバイスがあれば、教えていただければ、実施しやすくなると思っています。
会長	交流の場なので、色々な情報を地域に発信していただきたいと思いま

	す。
C 委員	地域のニュースが、いきいき百歳体操の場で交わされています。地域の情報が伝わりやすいし、お互いに気をかけあっており、いきいき百歳体操が良い方に機能していると思います。
D 委員	老人保健施設だが、認知症の方が多くなっています。早期に発見できないかなと感じていたが、特定健診でチェックシートを実施することで、少しでも早期に発見して、予防対策がとれることは良いことだと思いました。
E 委員	この世界に入り、9 月で 3 年がたとうとしている。 この職につくまでは認知症の方に対し、敬遠しがちな接し方をしていたが、この世界に入って、だいぶん、見方が変わった。非常に、身近に接することができるようになった。事業実績報告の P48 について、新規認定者の状況で、令和元年に減っているが、何か要因があったのか？
事務局	１つは全国的に、介護保険計画第 6 期の 3 年間の中で、総合事業を実施するように言われ、宍粟市では平成 29 年度に総合事業が始まりました。それまで、要支援 1 及び要支援 2 の方で、ヘルパーとデイサービスのみ利用の方については、介護保険の更新をせずに、基本チェックリスト（元年度実績の P6 参照）を実施し、生活全般に支援がいる、運動面、口腔面、栄養面、閉じこもり、うつの状況から、該当する場合はチェックリストを持って事業対象者としても良いとなった。変更後、平成 29 年度、平成 30 年度は増えたが、令和元年は減っている。声を大にして言いたいのは、いきいき百歳体操の効果があったのではないかということです。それだけではないと思うが、いくらかは、効果があったのだと思う。 地域を散歩しても誰もいない、自分しかいない、病院にいったら、待合でたくさん話せるから嬉しい。今までは地域で集まって話せていたから良かったが、A さんはデイサービスに行き、B さんも行きはじめた、C さんは入所した、地域の人がいなくなって、私も A さんと一緒のところへ行きたいですと、介護保険申請の相談にこられる場合がある。それが、週 1 回、地域の中で自分で歩いていけるところへ、定期的に集まる場ができたということで、楽しみが増えた、出る場が増えた、そのために、認定率が減ったことも考えられる。

会長	いきいき百歳体操の効果が明らかになったら良いですね。
F 委員	質問ですが、介護認定者が昨年度に比べて減っているが、何か要因がありますか。配食サービスや緊急通報システムも昨年度と比較し、減っているが、コロナウイルスの影響もあるのかなと思うが、在宅で生活されている方が減っているのではないか思ったがどうか。緊急通報システムに変わる、見守りの対策があるのか。
事務局	介護認定者が減ったことについて、入院中退院に向けて介護保険の申請はしたが、退院後サービスを使わずに有効期限が切れた方については、更新されなくても、必要な時に申請されたら良いということで、サービスを使われなかった方が、更新をされなかったという要因も一つあるように思う。 配食サービスについては新型コロナウイルス感染症の関係で、社会福祉協議会とも協議し中止となり、いったん再開したが、また中止になった。給食ボランティアの方が三密になるため、集まっていただけないので、4月に入ってからは、職員が調理に入り、配食していただいたこともあり、下がっているところもあるが、全体からみたら、登録人数としては、変わらない状況であると思うが、どうか？
G 委員	対象者数は下がっている現状ではある。
事務局	緊急通報システムについては、合併前からこの制度があり、旧町単位で対象が違ったところがあった。千種では 80 歳以上の独居の方は全員つけていたので、合併当時は設置数が高かった。以前は、緊急通報システムを押すと、広域消防につながっていたが、今は、アルソックという大阪の事業所へつながるようになっています。そして、緊急時の通報だけでなく、心配なことがあり、相談したいことがあれば、ボタンを押すと、看護師さんが控えておられ、健康相談もできるという機能もついた。 その関係で、緊急通報システムが設置できる対象を合併後見直している。その中で、要介護 2 以上の方、認知症があって、緊急通報システムをつけていても理解や使い方が分からない方があり、対象者を見直している。 外出の頻度が多い方については、押しても使えないということで、生活

	が自宅内中心の方が対象になっている。携帯電話の普及もあり、短縮登録で大丈夫ということで、つけられない方もおられ、そんな要因もあり、減ったのではないかと思う。
会長	みなさんに聞いていきたいが、時間の都合もあるため、最後、聞いておきたいこと等あれば挙手をお願いします。 続いて、５．その他をお願いします。
事務局	５．その他 本日の資料にいきいき百歳体操かわら版があり第２号となります。第１号については、いきいき百歳体操に参加されている方から川柳を募集し、優秀作品を載せました。今回は、体操の様子を載せたかったが、新型コロナウイルス感染症の関係で体操がお休みだったこともあり、その間、インストラクターの勉強会をしましたということで、その様子を載せています。そして、下の方には、いきいき百歳体操は週１回行っているが、本来は１週間に２回するとより効果があると言われているので、少しずつ進めていきたいと思っているが、今年度末くらいを目標に、週２回の投げかけができればと思っています。
H 委員	週２回になると、世話役の負担になってくる。
事務局	地域の状況にもよるので、一律に２回とは思っていないが、できるところは、２回していただけたらと思っています。 世話役さんの負担とならいように、検討する。見守り機能も兼ねているということで、声を掛け合いながらの地域づくりとして、つながっていったらいいなと思っている。 週２回については徐々に様子をみながら広めようかなと思っている。
会長	患者さんの中に、昼間はいけないが、夜部会があって良いという声を聞いた。提案だが、昼部会、夜部会、男性だけの会、女性だけの会、青年団と老人団で分けるなどできたら良いと思う。
事務局	一宮の自治会では、素麺屋さんが参加しやすいように、朝グループ、夜グループとされているところもある。
副会長	６．閉会